

地区の概況等

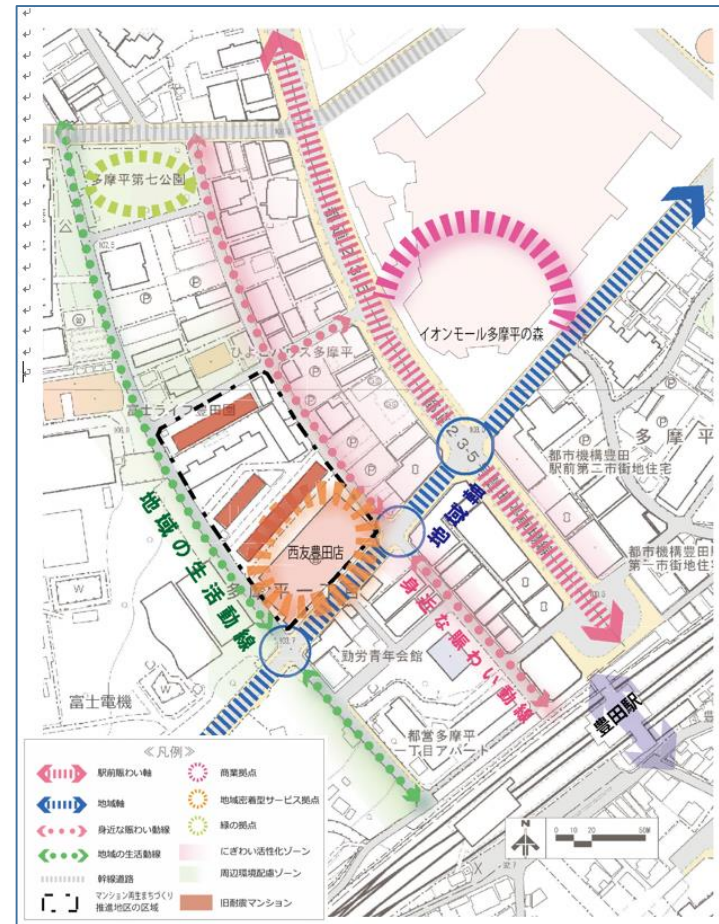
- ・位置 日野市多摩平一丁目9番地
面積 約1.0ヘクタール
- ・旧耐震マンション棟数 3棟
- ・都市基盤が整備されているが、旧耐震建築物を含む4つの管理組合からなる分譲マンションが大歩高経年化に伴う設備の老朽化や居住者の高齢化、地域の防犯・防災力を含む地域コミュニティの衰退が課題

まちづくりの目標

- ・旧耐震建築物・高経年マンションの更新や地域の拠点となる商業施設の維持・公共空間等を充実を図り、「みんなが安心・笑顔で住み続けられるまち 多摩平1-9タウン」実現を目指す。

■ まちづくりの方針

- 1 多世代が居住し、安心して住み続けられる住宅地の形成
- 2 地域に寄り添った地域密着型サービス拠点の形成
- 3 周辺道路の性格に応じたゆとりある歩行者空間の形成
- 4 日常や災害時にも支えあえる防犯・防災力の向上
- 5 地域交流を醸成する場の形成や仕組みづくり



■ 計画図

地区の概況等

- ・位置 多摩市愛宕一～四丁目、貝取一～五丁目
豊ヶ丘一～六丁目 ほか
- 面積 約346ヘクタール
- ・旧耐震マンション棟数 89棟（左図①～⑫の位置）
- ・愛宕地区には都営の集合住宅、貝取・豊ヶ丘地区には分譲の集合住宅が多く立地
- ・特に旧耐震の団地型分譲マンションの再生に向けて、高齢化が進む区分所有者の合意形成や、敷地条件・建築規制面で課題あり

まちづくりの目標

- ・マンション再生の支援・促進などにより「多摩ニュータウンの多彩な魅力を引き出し発信するクリエイションエリア」として、個性ある魅力を磨き、持続的で活力あるまちづくりを目指す。

■まちづくりの方針（抜粋）

【ゾーニングの方針】

- ・市場性や供給年次、立地特性を踏まえた住宅の再生
- ・利便性や地域住民の生活を支える沿道拠点機能の維持

【拠点形成の方針】

- ・近隣センターは多様な生活拠点として地域の居場所を創出
- ・住宅ストックと連携した団地内集会所等小さな拠点形成

【ネットワークの方針】

- ・地区内の遊歩道ネットワークを活かした歩行者空間の充実

